

大東文化大学
研究倫理審査に関する申請の手引き

2025年 11月 1日

人文社会科学系研究に関する倫理審査委員会

全体に関わる共通事項

1. はじめに

研究者が研究活動を実施するにあたっては、調査対象者や実験対象者（以下「研究対象者」という）の人権に配慮した研究計画を立案しなければなりません。このことは、生命科学・医学系研究においてはもちろんのこと、人文社会科学系研究においても同様となっています。仮に人権配慮が十分に行われていない研究活動が行われた（あるいはなんらかの形で関与してしまった）場合には、研究者としての信用を損なうなどの社会的制裁を受けるとともに、調査の結果によっては研究活動における不正行為が認定され、学内的な処分の対象となる場合があります。大東文化大学（以下「本学」という）に所属されている研究者のみなさま方には、以上の点に十分ご留意いただき、公正な研究活動の実施に努めていただきますようお願いいたします。

本学では、研究者が行う個々の研究課題が、関係諸官庁が定める指針やいわゆる研究倫理の面から見て、これが適正に行われる計画であるかどうかを審査することを目的として、以下の通り委員会を設置しています。

●生命科学・医学系研究： 大東文化大学人を対象とする生命科学・医学系研究倫理審査委員会

●人文社会科学系研究： 大東文化大学人文社会科学系研究に関する倫理審査委員会

※倫理審査を受審することは、昨今においては、単なる研究活動における手続きのひとつではなく、当該研究が社会的に公正かつ適正なものであることを証明するための重要なプロセスですので、委員会における研究倫理審査には真摯に向き合ってくださいようお願いいたします。

2. 基本ルール

本学に所属する大学院生（修士課程）以上の研究者が、研究対象者の協力を得て生命科学・医学系研究を実施する場合は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（以下「生命・医学系指針」という）に基づいて、倫理審査を必ず受審しなければなりません。「ただし、受審先は学外機関でも可。その場合には、当該研究計画書および倫理審査結果報告書を研究推進室に提出すること。」

人文社会科学系研究を実施する場合においては、倫理審査を受けることは必須とはなっていませんが（本学に所属する大学院生（修士課程）以上の研究者が必要に応じて受審することができます）、上記に記載した通り、研究対象者の人権には十分配慮していただくようお願いいたします。

（注）倫理審査を受審しない＝研究対象者の人権に対する配慮は不要とはなりません。

また、倫理審査の要否については、研究者自身の責任で判断していただくこととなりますが、学会発表・論文の投稿などにおいて審査結果の開示を求められる場合もありますので、自身の研究内容及び研究成果の公表を見据えた判断が必要です。

なお、学部生のゼミ活動については、教育の一環であることから、倫理審査の受審は必要ないものとしますが、指導教員の先生方には、研究対象者の人権に配慮したご指導をお願いいたします。ただし、担当教員の研究内容の範疇において実施する場合は、必要に応じて研究倫理審査を受審してください（例えば、担当教員がゼミ生と合同で自身の研究成果として学会発表・論文の投稿などを行う場合等）。

3. 審査対象とする研究課題

それぞれの委員会で取り扱う案件について、以下にお示しします。参考にしていただきながら、研究責任者の判断によって当該案件の申請を行ってください。（研究活動の内容を最も理解しているのは申請者たる研究責任者であり、研究実施に関わる最終的な責任を負うため）。

ただし、交付を受けている研究費や研究実施の背景によっては以下の区分が適用できない場合もありますので、ご不明な点がございましたら研究推進室までお尋ねください。

<生命科学・医学系研究>

●研究対象者から得られたゲノム・遺伝子を用いた研究

※人類遺伝学等の自然人類学、人文学分野においても該当する場合があるのでご注意ください。

●研究対象者から得られた健康に関する情報（運動によって得られた情報を含む）を用いて行う研究活動

（例）運動負荷をかける実験を伴う研究、生体試料を採取することを伴う研究、研究対象者の疾病に関する情報を分析する研究

（注）アンケート調査（インターネット調査を含む）・インタビュー調査であっても、疾病や健康に関するセンシティブな情報を取得する場合は、これに該当します。ただし、生活習慣は行動習慣に起因する情報であるため、健康に関する情報に該当しない。

<人文社会科学系研究>

●行動習慣、思想や信条、人材養成や教育成果など、研究対象者から得られた内面を含む個人情報に関わる内容などを用いて行う研究活動

（例）行動実験（テストなどを含む）を伴う研究、アンケート調査（インターネット調査を含む）を伴う研究、インタビュー調査を伴う研究、観察を伴う研究

4. 申請・審査の流れ

以下の手順により申請受付・審査を行います。

申請から承認まで迅速審査で 1 か月程の時間を要します。通常審査の場合はそれ以上の時間を要する場合がありますので、申請は計画的に行っていただくようお願いします。

●申請書類の提出は、審査を希望する月の5日までとします。

＊提出書類：①～③は必須、④は必要に応じて用意し提出してください。

①倫理審査申請書（様式第1号）

②説明文書（原則、本学のひな型を使用すること）

③同意書および同意撤回書（原則、本学のひな型を使用すること）

※既に匿名加工された研究データの2次利用については②、③の提出が原則不要となります。

④その他、研究計画の説明に必要な書類（必要に応じて用意し提出）

・（アンケート調査を行う場合）質問事項・回答事項の分かる書類

・研究データの取得に関して必要な書類（業務計画・機密保持契約書／データ使用許可書など）

・（生命科学・医学系研究）匿名化・非識別加工が行われていない個人情報を他機関に提供する場合、

または他機関から提供される場合は、「生命科学・医学系研究における個人情報の取得に関する同意書」

(様式第5号-1～3)を作成し、提出してください。

※提出方法：メールによる電子媒体提出（提出書類のうち、倫理審査申請書・説明文書・同意書および同意撤回書はワードファイルにてご提出ください）

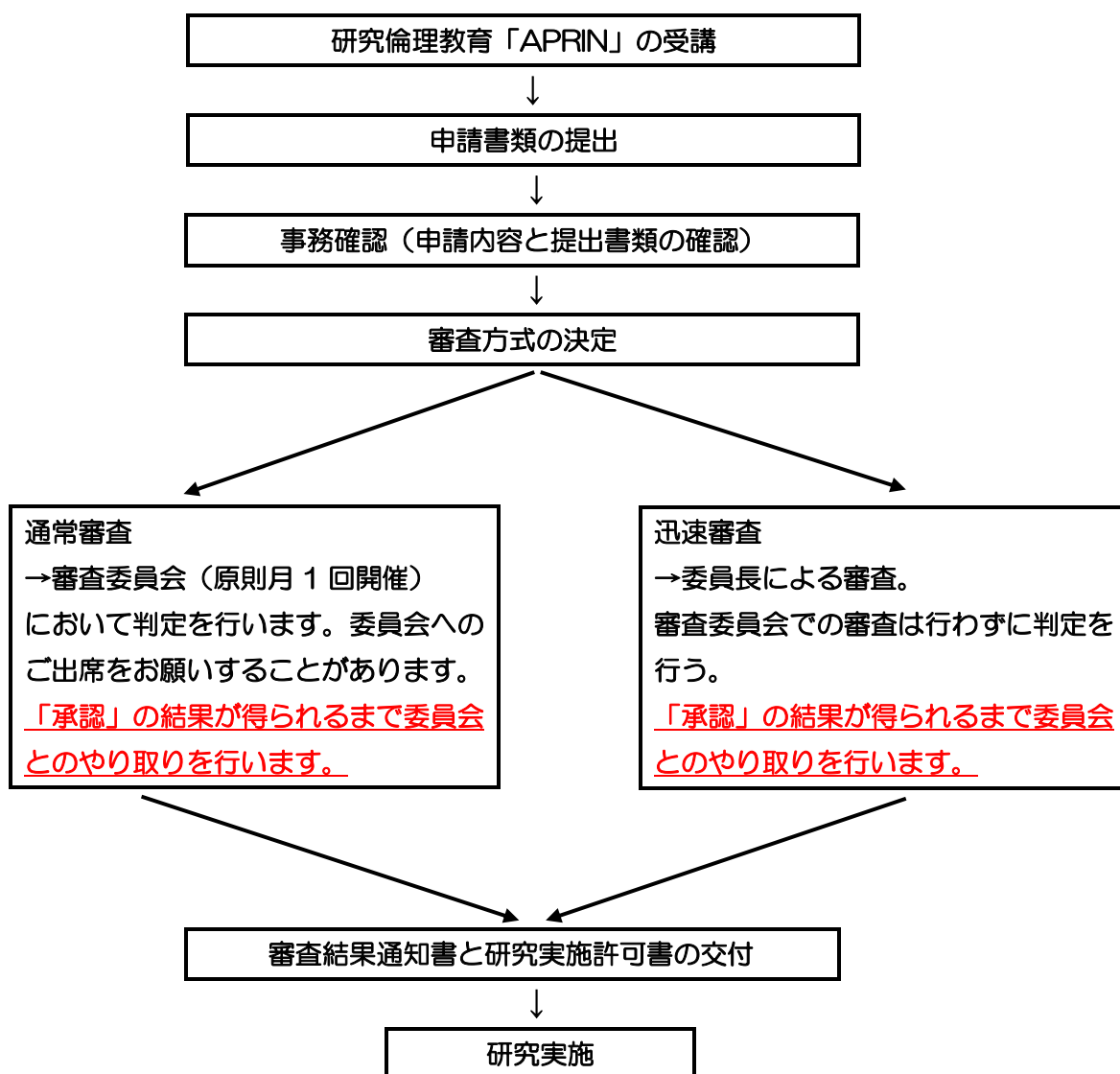
※提出先：大東文化大学研究推進室

倫理審査専用メールアドレス：kenkyu-rinri@jm.daito.ac.jp

●緊急で実施する必要がある研究課題については研究推進室までご相談ください。

※緊急で実施する必要がある研究課題：研究者個人の事情（学会などとの関係）によるものではなく、研究対象者の生命・健康に関わる特段の事情があり緊急的に追加実験等を行う必要が生じた、研究費を交付している官公庁や研究対象者の事情により早急な対応が迫られている研究課題を指します。

<倫理審査の流れ>



＜申請・審査における留意事項＞

1. 事務確認について

- ・事務確認においては、基本的に申請内容と提出書類の確認を行います。必要に応じて内容に関する照会や修正をお願いする場合があります（審査をよりスムーズに行うことが目的）。

2. 審査方式について

- ・審査方式には、**通常審査**と**迅速審査**の2種類があります。どちらの方式により審査を行うかについては、委員会が決定します（提出された研究課題の内容を踏まえて、これまでの委員会における審査実績などから決定されます）。
- ・通常審査の場合、申請内容の確認のため、必要に応じて申請者の出席を求める場合があります。

3. 審査結果について

- ・委員会では審査方式によらず以下のとおり判定を行います。

承認	：研究を実施して差し支えないと判断される。
条件付き承認	：付された条件を満たすことにより、研究を実施して差し支えないと判断される。
変更の勧告	：申請された内容について、研究倫理の面からは是正を要すると思われるため、委員会の意見を踏まえて、変更の上で改めて申請し直すことを勧告する。
不承認	：申請された内容が、法令違反もしくは研究対象者への人権保護に著しく問題があると考えられるため、研究を実施することが不適当であると判断される。
非該当	：審査委員会で審査する内容ではないと判断される。

※「変更の勧告」の場合は、上記のプロセスのうち、「申請書の提出」から改めて手続きを行うことで、再度判定を受けることができます。

4. 再提出（条件付き承認後）について

「条件付き承認」の場合は、必ず委員会の意見を反映させた修正版の申請書等（修正箇所は赤字）を、1 か月以内に再提出してください。1 か月以内の再提出が難しい場合や申請内容を変更する場合などについては、事前に研究推進室の倫理審査専用メールアドレスにご連絡ください。

5. 他機関での倫理審査について

倫理審査は、必ずしも本学で受審しなければならないものではありません。

共同研究などにおいて他大学による受審が必要な場合や、学会などの学術団体で設置されている倫理審査委員会を利用の方がより専門的な視座から意見を受けることが可能である場合などは、他機関で受審されることをおすすめします。

倫 理 審 査 申 請 書 (記載上の注意事項)

年 月 日 提出

大東文化大学学長 殿

研究責任者の氏名等

所属：大東文化大学 ○○学部

職位等：教授

氏名：大東太郎

連絡先（携帯電話）：090-****-****

メールアドレス：*****@gmail.com 等

大学院生の研究活動による申請の場合は、
指導教員の名義にて申請すること。

大東文化大学人文社会科学系研究に関する倫理規程第8条に基づき、
以下の内容について倫理審査を申請します。

※チェック項目は必ず黒塗り（■）とすること。

1. 研究課題名	* 研究課題名は研究内容や研究を通じて明らかにしたいことと齟齬がないように注意すること。
2. 研究期間	委員会承認日 ～ 年 月 日 * 研究期間は原則として3か年以内で、研究成果の最終的な公表日までとなります。
3. 他機関での審査	☐ あり（結果通知書を添付する） ☐ なし
4. 指導する大学院生 （研究指導の場合に記載）	所属：大東文化大学 大学院 ○○学研究科 職位：○○課程○年 氏名：大東花子 連絡先（携帯電話）：080-****-**** メールアドレス：*****@gmail.com 等 (注) 大学院生が申請する場合のみ記載（院生以外は記入しない）すること。
5. 共同研究の有無	☐ あり ☐ なし (ありの場合) 共同研究者の所属・職位・氏名・研究上の役割について記載してください。 【共同研究者】記載例 所属：大東文化大学 ○○学部 職位：教授 氏名：大東二郎 研究上の役割：データ解析指導
6. 研究費	☐ 一般研究費 ☐ 特別研究費 ☐ 科学研究費補助金 ☐ 学科予算等 ☐ 研究科予算等 ☐ 受託研究・共同研究・指定寄附研究（研究費受給元： ） ☐ その他（資金名： ） (注) 大学院生の研究では「研究科予算等」を選択すること。 (注) 利益相反関係が生じている研究課題は、利益相反委員会に申告すること。 →詳しくは研究推進室まで。

7. 研究の概要 *以下の点に留意して研究の概要を記載すること。**【研究の意義】**

*本研究の動機や発想のもとになっている問題提起、これに対する研究の必要性・重要性および関連科学分野あるいは社会への貢献等

【研究の目的】

*研究の意義に対して、本研究は何を、どのように、どこまで取り組むのか・明らかにしようとするのか等

8. 研究計画 *研究計画を具体的かつ分かりやすく記載すること。

(注) 論文のような書き方(研究計画調書は論文ではありません)では審査できません。

(注) 必要に応じて箇条書きを使用する、図表を挿入する、参考資料を添付する(必ず資料番号を付すこと)等してください。

(1) 研究計画 *以下に示す事項に留意しながら必要事項を記載すること。**【留意事項】**

*本研究の目的を達成するための試料・情報・データ等の獲得および分析の手法

*研究対象者がどのように本研究に参加することになるのかがわかる内容

《以下は(1)研究計画の内容を踏まえて記入してください》**(2) 研究対象者が本研究において参加する内容**

☐ アンケート調査(インターネット調査を含む) ☐ インタビュー調査 ☐ 学力・記憶力テスト等

☐ 行動実験

☐ その他(具体的な内容: _____)

(3) 研究対象者から収集するデータ *個人情報の場合、データ名の前に(個人情報)と記載する。

*研究対象者から取得するデータを箇条書きで記載すること。なお、研究内容に必要なものは取得しないこと。

①

②

③

【個人情報について】

*個人情報とは、氏名や生年月日などによって特定の個人を識別できる情報のことを指します。情報を組み合わせることで個人が識別できる情報も個人情報に含まれるため注意すること。

*研究対象者から取得する情報を組み合わせることで個人が識別できる場合は、取得した情報はすべて個人情報となります。

*研究者等が立会いによって実験データを収集する場合には、立ち会う段階で個人が特定されているため、すべて個人情報となりますので注意してください。

(4) 研究対象者について**① 研究対象者の属性および対象人数**

属性: *研究対象者の年齢(もしくは年代)・性別も含め属性を記載すること。

対象とする人数: *現段階での想定人数(研究を進めるうえで合理性のある人数)を記載すること。

② 研究対象者からのデータ取得が完了するまでの期間: 年 月 ~ 年 月 (〇〇ヶ月)

*研究対象者からデータを取得(アンケートを実施)する期間(実験の開始期と終了期)を記載すること。

*データの取得が1回/1日で終了することも想定されるが、予備的に複数回実施することも想定して、最低単位は1か月とする。

(5) 本研究を実施する場所：

* 当該研究が明らかに実施可能な場所を記載すること。

(6) 研究成果の公表方法

①発表する団体および公表の方法：学会名／公表方法（ポスター発表、論文投稿、研究発表など）を記載すること。

②研究成果の公開にあたって共同研究者間の合意の有無 ☐あり ☐なし ☐必要なし

9. 研究対象者への倫理的配慮

(1) 研究対象者に対する説明と同意（説明文書・同意書・同意撤回書を添付すること）

①研究対象者（あるいは代諾者）への説明方法

☐文書による説明 ☐口頭・掲示物等による説明 ☐電磁的方法による説明

☐説明の必要なし（理由：_____）

②研究対象者（あるいは代諾者）からの同意取得方法

☐書面による同意取得 ☐口頭による同意取得 ☐電磁的方法による同意取得

☐本研究に関する説明を周知し不同意の場合に研究対象者から申し出を受ける

* 説明文書・同意書・同意撤回書を資料として添付すること（大学が指定する様式を使用することを推奨する）。

* 判断能力の有無にかかわらず、研究対象者が18歳未満の場合には、保護者等代諾者に対して研究内容について説明し、同意を得なければなりません。（代諾者へのインフォームド・コンセント）

③研究対象者への説明および同意取得において配慮しなければならない事項：

* ハンディキャップを有するなどの理由により、説明や同意取得により配慮を要する場合は記載すること。

* 目の不自由な人を研究対象者とする場合には、説明文書を点字化・音声化する。同意書への記載は代筆者によって行う等の配慮が必要となります。

(2) 研究対象者に対して与える苦痛とそれに対する対応

①本研究への参加が研究対象者に対して苦痛を与えることの有無（可能性を含む） ☐あり ☐なし

②（①「あり」の場合）研究対象者に与える苦痛の具体的内容：

* 研究参加による負担並びに予測される研究対象者の苦痛を記載すること。

③（①「あり」の場合）苦痛の軽減を図ることを目的として研究対象者に対して講じる配慮事項：

* 上記②に記載された研究対象者への苦痛を最小化するための具体策を記載すること。

(3) 研究対象者に対する謝礼の有無

☐あり ☐なし

* 支払形式：☐現金 ☐商品券 ☐現物支給（商品名：_____）

*（上記において現金・商品券を選択した場合）金額：_____円

10. 研究対象者（およびそれに関わる関係者も含む）の個人情報および研究データの取扱い

(1) 個人情報等の取扱い

①本研究における研究対象者等の個人情報の取扱い ☐あり ☐なし（8（3）と突合させる）

* 研究責任者が実験に立ち会う場合は、その場で見聞きするすべてが個人情報となるので、「あり」を選択すること。

②（①において「あり」を選択した場合）個人情報に匿名加工・非識別加工する手順を具体的に記載する。

・匿名加工・非識別加工の具体的な手順：

* 本研究課題に関わらない第三者が匿名加工・非識別加工を行うことを明記し、以下の文例を参考にしながら記載すること。

例) 個人を識別する氏名等の情報、学籍番号などの個人識別符号、個人情報と他の情報を結びつける符号・記号、個人を特定できる可能性のあるコメント等は削除する。なお、本研究課題の実施によって得られた個人情報に関わる匿名加工・非識別加工は、本研究に関わらない第三者がこれを行うこととする。

③本研究における個人の思想信条、収入、病歴（診察歴）などセンシティブ情報の取扱い ☐あり ☐なし

(2) 研究データの取得方法について

- ☐個人情報を含む研究データを取得し、匿名加工・非識別加工を施してデータ化する
- ☐個人情報を含まない研究データを収集する（紙媒体・電子媒体（google formを含む）を問わない）。
- ☐個人情報を含まない研究データの収集を企業等に行わせる（業務計画書・機密保持契約書を添付）
- ☐個人情報を含まない研究データの提供を他機関等から受ける
- ☐この研究以外の目的等で取得された個人情報を含まない研究データを使用する
- ☐その他（具体的な内容： _____）

(3) 個人情報および研究データの管理について

- ①管理責任者：* 管理責任者には研究責任者名を記載すること。
（個人情報は匿名加工・非識別加工を行った段階で第三者によって抹消させること）。
- ②保管期間： ☐10年（研究データ） ☐5年（実験試料その他現物） ☐その他（ _____ 年）
- ③保管方法：* 以下の点に留意し、紛失や漏えい等の防止対策を記載すること。
- ・紙媒体の場合：* 研究室にある鍵のかかったロッカーに保管する。
 - ・データの場合：* PCにパスワード付きで保管する。* データを使用する際はインターネットに接続しない。
* パスワード付きの堅牢なクラウドに保存する。
- ④処分方法：* 以下の点に留意し、紛失や漏えい等の防止対策を記載すること。
- ・紙媒体の場合：* シュレッダーによる破砕処分など再生（復旧）不可能な手段を用いる。
 - ・データの場合：* データ消去ソフトを使用するなどして端末をフォーマットして完全消去させる。
* クラウドのバックアップ全体を削除する等。

11. これまで実施してきた同様の研究課題

☐あり ☐なし

（ありの場合のみ）

承認機関 ☐大東文化大学 ☐他機関（承認機関名： _____）

承認番号（ただし本学で受審した課題のみ）：

研究課題名：

12. 本申請書を記載するうえで使用した参考文献等（文献名・著者・ページを明記）

○本件、倫理審査申請に関する提出書類は以下の通りです。

※提出する申請書類のすべてを箇条書きにしてください。

<記載例>

1. 倫理審査申請書
2. 説明文書
3. 同意書および同意撤回書
4. ○○○○○
5. ★★★★★

記載がない場合は審査を受付けることが
出来なくなる場合がありますので、必ず、
記載してください。

説明文書（ひな型）

研究対象者のみなさまへ

研究へのご協力のお願い（人文社会科学系研究） （記載上の留意事項）

＊研究対象者が理解できるような言葉で記載すること。

＊倫理審査申請書と同一の内容でなくてはならないが、倫理審査申請書のコピーペーストは不可。

この研究活動を行うにあたって、研究対象者のみなさまにご協力をいただきたいと思います。ついては、以下にしたがって説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

なお、この研究活動は、令和〇〇年〇〇月〇〇日開催の大東文化大学人文社会科学系研究における審査にて承認の判定を受け、大東文化大学学長の承認（令和〇〇年〇〇月〇〇日付通知文書）を得て行われるものです。

＜全体に関わる留意事項＞

- ①あなた（未成年者の場合は代理人。以下同じ。）は、この研究に参加するかどうかをご自身の意思で決めることができます。参加しない場合であっても、不利益を被ることはありません。また、研究参加に同意をした後であっても、随時これを撤回することができます、不利益を被ることはありません。
- ②あなたが、この研究によって得られたデータを使用して欲しくない場合にはデータの使用を中止しますので、研究責任者に申し出てください。なお、個人情報収集しない調査の場合（あるいは集計作業終了後においては）、あなたの回答内容を研究データから抜き出すことが困難な場合がありますので、あらかじめ承知しておいてください。
- ③あなたは、他の参加者の個人情報を保護することや、この研究の独創性を確保することに支障がない範囲で、研究計画書やその他の資料を閲覧することができます。希望する場合は、研究責任者に申し出てください。
- ④この研究によって得られたデータを将来の研究に使用する可能性があります。また、他の研究機関にデータを提供する可能性があります。この実験に参加することを承諾しても、将来の研究に使用することや他の研究機関にデータを提供することを承諾しない場合は、研究責任者に申し出てください。
- ⑤インターネット調査を行う場合には、ホームページ等に掲載されている説明事項を熟読いただき、内容に同意（画面上で同意を求める場合があります）をいただいたのちに、調査にご協力ください。
- ⑥あなたの秘密が保全されることを前提として、モニタリング・監査を目的として、大東文化大学人文社会科学系研究に関する倫理審査委員会および幹事（研究推進室担当者）が、必要な範囲内においてあなたに関する試料や情報を閲覧することがあります。
- ⑦この研究において疑問や質問がある場合は、遠慮なく研究責任者に申し出てください。また、研究責任者に相談できない事項がある場合には、大東文化大学研究推進室にご相談ください。

＜本研究の概要について＞ ＊該当する申請書項目 1.（研究課題名）～7.（研究の概要）

①研究課題名

②指導教員（大学院生による申請の場合に記載）

所属：

職位：

氏名：

連絡先（携帯電話）：

メールアドレス：

③研究の概要

＜あなたにご参加いただく内容等について＞ ＊該当する申請書項目 8.（研究計画）

1）あなたにご参加いただく内容（研究計画）は以下の通りです。

2）あなたから収集させていただくデータは以下の通りです。

①

②

③

3）本研究の対象となられている方々に関する情報は以下の通りです。

①この研究の対象となっている方（属性）：

②今回の研究で対象としている人数：

③データ取得が完了するまでの期間： 年 月 ～ 年 月 （〇〇ヶ月）

4）本研究を実施する場所は、 _____ です。

5）本研究の成果は、以下の通り公表される予定です。なお、個人が判別するような状態で公表されることはありません。

①発表される学会等：

②発表の方法：

＜本研究に参加することに伴うリスクとそれに対する対応について＞

＊該当する申請書項目 9.（研究対象者への倫理的配慮）

1）本研究への参加を通じて、あなたに対して苦痛を伴わせる可能性が、 □あります □ありません

2）あなたに与える苦痛の具体的な内容は以下の通りです。

3）あなたに与える苦痛を軽減するために以下の通り対応策を講じます。

＜あなたから得た個人情報および研究データの取扱いについて＞

***該当する申請書項目10.（研究対象者の個人情報および研究データの取扱い）**

- 1) 本研究を通じて、あなたから個人情報を得ることが、 ☐あります ☒ありません
- 2) あなたの個人情報は、匿名加工・非識別加工（誰のものか分からなくする加工）によって、研究データに加工されます。
- 3) あなたから得たデータ（個人情報および個人情報に由来する研究資料）は、以下の通り管理されます。
- ①管理責任者：
 - ②保管期間： ☐10年 ☐5年 ☐その他（ 年）
 - ③保管方法：
 - ④保管期間が満了しデータを処分する方法：

<この研究に関する連絡先>

研究責任者：〇〇〇〇（大東文化大学 〇〇学部 〇〇学科 教授）

電話：090-0000-0000 / E-mail：〇〇〇〇〇〇〇〇

相談窓口：大東文化大学研究推進室：

電話番号：0493-31-1520 / E-mail：kenkyu-rinri@jm.daito.ac.jp

<本日の説明者> *大学院生が説明する場合は大学院生の氏名等を記載する。

〇〇〇〇（大東文化大学 〇〇学部 〇〇学科 教授）

〇〇〇〇（大東文化大学 大学院 〇〇研究科 修士課程〇年）

大東文化大学 学長 殿

同意書（ひな型）

同 意 書

私は、別に定める説明文書等に基づき、説明者の_____さん（*研究対象者の自筆により記入）より以下の通り説明を受け、十分理解いたしました。つきましては、この研究に参加することについて同意いたします。

1 研究課題名：

2 研究責任者（所属・氏名）：

3 説明のあった事項（*チェックボックスにチェックマークを記入する）

☐全体に関わる留意事項

☐本研究の概要について

☐あなたにご参加いただく内容等について

☐本研究に参加することに伴うリスクとそれに対する対応について

☐あなたから得た個人情報および研究データの取扱いについて

4 研究対象者の氏名等（自署によること）

氏名・所属：_____

住所：_____

代諾者の氏名（研究対象者との続柄）：_____（_____）

大東文化大学 学長 殿

同意撤回書（ひな型）

同 意 撤 回 書

私は、別に定める説明文書等に基づき説明を受け、今回の研究に参加する旨の同意をしましたが、この同意を撤回します。

1 研究課題名

2 研究対象者の氏名等（自署によること）

研究対象者の氏名：_____

代諾者の氏名（研究対象者との続柄）：_____（ ）

（代諾者がいる場合のみ）